

CODE BLUE

because security matters.

November 8-9, 2023 for Conference

開催概要

名称	CODE BLUE 2023
会期	2023年11月8日(水)～11月9日(木)
会場	東京・赤坂インターシティコンファレンス(赤坂インターシティAIR 4F)
開催形式	リアル会場(対面形式)でのカンファレンス
主催	CODE BLUE実行委員会
運営	CODE BLUE事務局(株式会社BLUE)
参加費	早期 78,000円(税込) 通常 98,000円(税込) 当日 128,000円(税込) ※ネットワーキングパーティ参加費を含む
その他	日英同時通訳付き(一部講演を除く)

※新型コロナウイルス感染症の拡大状況によっては、内容を一部変更する場合がございます。あらかじめご了承ください。

CODE BLUEが提供する価値

IoT、AI、ロボットといった先端技術の導入が進むことによって、われわれの生活は大きく変わろうとしています。自動運転や遠隔医療など、サイバー空間とフィジカル（現実）空間の融合によるイノベーションが数多く創出されています。これに伴い、サイバーセキュリティの重要性は以前にも増して高まっており、もはや技術者だけの問題ではなく社会全体で取り組むべき課題の1つであると言えます。

CODE BLUE は、世界トップクラスのサイバーセキュリティ専門家による国際会議です。本会議はベンダー中立の立場から、欧米の著名な研究者による最新の研究成果を共有するとともに、日本をはじめとするアジア各国の優れた若手研究者を発掘し、その研究成果を世界へと発信しています。2013年度の開始以来、こうした取り組みを積み重ねることで国内外のサイバー・セキュリティ・コミュニティから厚い信頼を得てきました。

CODE BLUE は第1回から数えて今年で11回目の開催となります。著名な研究者の講演を聴講することでサイバーセキュリティの最新動向や新たな知見に触れ、来日参加者を含めた多くの業界関係者とのネットワーキングを広めるなど、CODE BLUE は参加される皆様に特別な価値を提供いたします。



CODE BLUE 2022 の基調講演『サイバーセキュリティの圧倒的な課題を理解するために』



CODE BLUE 2022、講演終了後に開催されるネットワーキングパーティの様子

過去の講師陣（一部）

2013 ジェフ・モス氏
BlackHat 創設者／DEFCON主催者、米国のハッカーシーンを牽引

2013 クリス・イーグル氏
米海軍大学校の上級講師、CTF界の重鎮

2016 カールステン・ノール氏
2022 SIMカードのハッキングやBAD USBなどの講演で有名なセキュリティ研究者

2017 ジョージ・ホッツ氏
iOS、Play Station 3などのジェイルブレイクで有名なハッカー

2018 ミッコ・ヒッポネン氏
F-Secureの主任研究員、業界を代表するオピニオンリーダーの1人

2019 オレンジ・ツァイ氏
2021 台湾のセキュリティ研究者、世界的なCTFプレイヤーであり、
2022 重大な脆弱性を数々発見

2020 オードリー・タン氏
台湾のデジタル担当大臣、ソフト開発者コミュニティの力を行政に生かすなど、政府とコミュニティのパイプ役的な存在

2021 坂 明氏
デジタル庁CISO、これまでに東京オリンピック・パラリンピック組織委員会CISOなどを歴任

2021 登 大遊氏
大学在学中にSoftEther VPNを開発・起業。2020年、新型コロナウイルス禍対策としてNTT東日本とIPAが共同で提供する「シン・テレワークシステム」の中心的開発者

2022 ニール・ワイラー氏
DEFCONやBlackHatといった米国ハッカー・コミュニティでGrifterの名で知られるセキュリティの専門家



ジェフ・モス氏



カールステン・ノール氏



ジョージ・ホッツ氏



ミッコ・ヒッポネン氏



坂 明氏